

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年4月12日

【四半期会計期間】 第8期第2四半期(自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)

【会社名】 株式会社S O U

【英訳名】 SOU Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 寄本 晋輔

【本店の所在の場所】 東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス 28階

【電話番号】 03(4580)9983

【事務連絡者氏名】 社長室長 深谷 良治

【最寄りの連絡場所】 東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス 28階

【電話番号】 03(4580)9983

【事務連絡者氏名】 社長室長 深谷 良治

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第7期 第2四半期 連結累計期間	第8期 第2四半期 連結累計期間	第7期
会計期間		自 2017年9月1日 至 2018年2月28日	自 2018年9月1日 至 2019年2月28日	自 2017年9月1日 至 2018年8月31日
売上高	(千円)	15,390,414	18,956,982	31,529,271
経常利益	(千円)	1,174,496	1,149,794	1,806,141
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	867,840	770,670	1,242,954
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	864,700	769,619	1,243,454
純資産額	(千円)	4,031,958	6,255,415	5,796,677
総資産額	(千円)	11,917,090	14,800,908	12,258,009
1株当たり四半期(当期) 純利益	(円)	155.12	126.94	214.19
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)	-	115.66	194.77
自己資本比率	(%)	33.83	42.26	47.29
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	87,530	994,063	449,475
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	195,747	395,721	554,564
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	642,344	1,429,414	744,549
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	3,188,453	5,324,495	3,297,704

回次		第7期 第2四半期 連結会計期間	第8期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 2017年12月1日 至 2018年2月28日	自 2018年12月1日 至 2019年2月28日
1株当たり四半期純利益	(円)	85.07	57.39

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移につきましては、記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第7期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が算定できないため記載しておりません。また、2018年3月22日に東京証券取引所マザーズ市場に株式を上場したため、第7期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から第7期連結会計年度末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
4. 当社は、2017年11月25日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っておりますが、第7期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容につきまして、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、2018年11月22日に提出した有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益を背景に、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復が見られました。一方で、米中貿易摩擦の激化が世界経済に与える影響や、中国経済の減速、英国のEU離脱問題の動向等への懸念から、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは商品仕入れの強化のため、買取拠点の移転・退店の検討と新規出店を進めてまいりました。買取事業ブランド全体の集客・運営の効率化を企図し、店舗数も多く集客のメインを担う「なんぼや」への注力も視野に、「BRAND CONCIER（ブランドコンシェル）」3店舗を退店、子会社である株式会社古美術八光堂が運営する「古美術八光堂」1店舗を退店し、「なんぼや」を新たに4店舗出店いたしました。これにより、当第2四半期連結累計期間末における買取店舗数はグループ全体で63店舗となりました。この他、百貨店催事場での買取会を継続して実施し、仕入れ増大に努めてまいりました。

販売においては、9月より業者向けオークション「STAR BUYERS AUCTION（スターバイヤーズオークション）」のオンライン入札オークションを国内で開始するとともに、香港ではダイヤモンドオークションを3回（2018年9月、11月、2019年2月）、時計オークションを2回（2018年11月、2019年2月）開催いたしました。小売りにおいては、希少性の高いヴィンテージアイテムを中心に取り扱う「ALLU（アリュ）」の2号店オープンに加え、ラグジュアリーブランドのアイテムからセカンドブランドのアイテムまで幅広く取り扱うECサイト「usus（ウズウズ）」を新たにオープンいたしました。さらに、自社ECサイト「ALLU」「usus」、ヤフオク！ストア「ZIPANG（ジパング）」、越境ECショッピングアプリ「豌豆公主（ワンドウ）」等、EC全体での在庫連携を図り多販路への同時出品を可能にするなど運用面での効率化を図り、EC販売の強化を進めてまいりました。

また、所持品の実物資産としての管理・運用を提案する資産管理アプリ「miney（マイニー）」については、他社サービスとの連携やAndroid版の本格リリースを行うなど、ユーザー数・登録資産額増加に向けた取組を展開してまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の財政状態及び経営成績は以下のとおりとなりました。

a. 財政状態

(資産)

当第2四半期連結会計期間における流動資産は、株式会社古美術八光堂の自社オークションでの商品販売をはじめ、前連結会計年度末にストックしていた商品の販売が進んだことによる商品の減少747,826千円があった一方、買取店舗の新規出店に伴う仕入れ量増加に備えた現金及び預金の増加2,044,801千円、売掛金の増加1,088,962千円等により、前連結会計年度末に比べて2,315,044千円増加し、10,930,716千円となりました。固定資産は、のれんの減少73,888千円があった一方、買取店舗及び小売店舗の新規出店に伴う建物及び構築物（純額）の増加190,808千円や、差入保証金の増加67,103千円等により、前連結会計年度末に比べ227,854千円増加し、3,870,192千円となりました。これらの結果、総資産は前連結会計年度末に比べ2,542,898千円増加し、14,800,908千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間における流動負債は、事業拡大に伴う運転資金確保のための短期借入金の増加2,260,000千円等により、前連結会計年度末に比べ2,287,292千円増加し、7,150,202千円となりました。固定負債は、社債の減少80,000千円や長期借入金の減少134,544千円等により、前連結会計年度末に比べ203,130千円減少し、1,395,290千円となりました。これらの結果、負債額は、前連結会計年度末に比べ2,084,161千円増加し、

8,545,493千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間における純資産額は、前連結会計年度末に比べて458,737千円増加し、6,255,415千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加458,038千円によるものであります。

b. 経営成績

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は18,956,982千円（前年同期比23.2%増）、営業利益は1,152,212千円（前年同期比3.3%減）、経常利益は1,149,794千円（前年同期比2.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は770,670千円（前年同期比11.2%減）となりました。

なお、当社グループは「ブランド品、骨董・美術品等リユース事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2,026,790千円増加し、5,324,495千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各区分ごとのキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、994,063千円の収入（前年同期は87,530千円の収入）となりました。これは売上債権の増加額1,088,962千円等による資金の減少があった一方で、税金等調整前四半期純利益1,142,295千円や減価償却費147,244千円、たな卸資産の減少額748,168千円等による資金の増加があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、395,721千円の支出（前年同期は195,747千円の支出）となりました。これは有形固定資産の取得による支出224,453千円や無形固定資産の取得による支出65,104千円、差入保証金の差入による支出85,783千円等による資金の減少があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、1,429,414千円の収入（前年同期は642,344千円の収入）となりました。これは長期借入金の返済による支出354,544千円や社債の返還による支出80,000千円、配当金の支払額312,500千円等による資金の減少があった一方で、短期借入金の増加額2,260,000千円等による資金の増加があったためであります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間の主な設備投資については、商品仕入れを担う買取店舗「なんぼや」4店舗の新設、小売ブランド「ALLU」の2号店となる「ALLU心斎橋」の新設を実施いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間に実施した設備投資の総額は373,860千円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における重要な設備の新設等は以下のとおりであり、重要な設備の除却はありません。

セグメントの名称	区分	店舗・設備の名称	開設日等
ブランド品、骨董・美術品等リユース事業	出店	ALLU心斎橋(大阪府大阪市中央区)	2018年9月
		なんぼや NAMBAなんなん店(大阪府大阪市中央区)	2018年9月
		なんぼや マルイシティ横浜店(神奈川県横浜市西区)	2018年11月
		なんぼや マルイファミリー溝口店(神奈川県川崎市高津区)	2018年11月
		なんぼや 阪神梅田駅前店(大阪府大阪市北区)	2019年1月
	退店	BRAND CONCIER 難波店(大阪府大阪市浪速区)	2018年9月
		BRAND CONCIER 池袋店(東京都豊島区)	2018年11月
		BRAND CONCIER 大宮店(埼玉県さいたま市大宮区)	2018年11月
		古美術八光堂 銀座店(東京都中央区) (注)	2018年12月
		ブランドリセールショーZIPANG(大阪府泉佐野市)	2019年1月

(注) 古美術八光堂は銀座エリアに2店舗出店しておりましたが、そのうちの1店舗を退店いたしました。

また、当第2四半期連結累計期間において、新たに確定した主要な設備の新設の計画は、次のとおりであります。

事業所名 (所在地)	設備の内容	投資予定額		資金調達 方法	着手及び完了予定年月		完成後の 増加能力
		総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手年月	完了予定年月	
STAR BUYERS LIMITED 事務所及びオークション会場 (中華人民共和国)	本社機能 オークション 会場	28,760	24,942	自己資金又は 借入金	2018年12月	2019年4月	(注) 2

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 完成後の増加能力につきましては、合理的な算出が困難なため、記載しておりません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年2月28日)	提出日現在 発行数(株) (2019年4月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,072,580	6,072,580	東京証券取引所 (マザーズ)	完全議決権株式であり、 権利内容に何ら限定のない 当社における標準となる 株式であります。 単元株式数は100株であ ります。
計	6,072,580	6,072,580		

(注) 提出日現在発行数には、2019年4月1日からこの四半期報告書提出日までに新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2018年12月1日～ 2019年2月28日 (注)	2,070	6,072,580	874	949,457	874	939,455

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

(5) 【大株主の状況】

2019年2月28日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
S Fプロパティマネジメント合同会社	東京都港区港南二丁目15番1号 品川インターシティA棟28階	3,863	63.62
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	608	10.02
寄本 晃次	兵庫県芦屋市	224	3.69
寄本 晋輔	東京都品川区	224	3.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町二丁目11番3号	213	3.51
岡村 茂樹	兵庫県西宮市	133	2.20
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番12号 晴海アイランドトリトンスクエアオフィスタワーZ棟	128	2.12
BBH/SUMITOMO MITSUI TRUST (UK) LIMITED FOR SMT TRUSTEES (IRELAND) LIMITED FOR JAPAN SMALL CAP FUND CLT AC (常任代理人 株式会社三井住友銀行)	BLOCK5, HARCOURT CENTRE HARCOURT ROAD, DUBLIN 2 (東京都千代田区丸の内一丁目3番2号)	123	2.03
野村信託銀行株式会社(投信口)	東京都千代田区大手町二丁目2番2号	70	1.15
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C NON TREATY (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	50 BANK STREET CANARY WHARF LONDON E14 5NT, UK (東京都中央区日本橋三丁目11番1号)	24	0.41
NOMURA CUSTODY NOMINESS LIMITED OMNIBUS-FULLY PAID (CASHPB) (常任代理人 野村証券株式会社)	1 ANGEL LANE, LONDON, EC4R 3AB, UNITED KINGDOM (東京都中央区日本橋一丁目9番1号)	24	0.41
計	-	5,638	92.85

(注) 1. 上記の所有株式のうち、信託業務に係る株式数は次のとおりであります。

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 608千株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 213千株
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口) 128千株
野村信託銀行株式会社(投信口) 70千株

2. 2018年12月20日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書の変更報告書において、三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社及びその共同保有者である日興アセットマネジメント株式会社、Sumitomo Mitsui Trust (Hong Kong) Limited (三井住友信託(香港)有限公司)が2018年12月14日現在で以下の株式を保有している旨が記載されているものの、当社として2019年2月28日現在における実質所有株式数の確認ができないため、上記大株主には含めておりません。なお、大量保有報告書の変更報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (株)	株券等保有割合 (%)
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社	東京都港区芝公園一丁目1番1号	113,100	1.86
日興アセットマネジメント株式会社	東京都港区赤坂九丁目7番1号	186,600	3.07
Sumitomo Mitsui Trust (Hong Kong) Limited (三井住友信託(香港)有限公司)	Suites 2506-9, AIA Central, 1 Connaught Road, Central, Hong Kong	6,800	0.11

3. 2019年2月6日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書の変更報告書において、レオス・キャピタルワークス株式会社が2019年1月31日現在で以下の株式を保有している旨が記載されているものの、当社として2019年2月28日現在における実質所有株式数の確認ができないため、上記大株主には含めておりません。なお、大量保有報告書の変更報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (株)	株券等保有割合 (%)
レオス・キャピタルワークス株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目11番1号	543,700	8.95

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年2月28日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,071,500	60,715	完全議決権株式であり、株主としての権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。
単元未満株式	普通株式 1,080		
発行済株式総数	6,072,580		
総株主の議決権		60,715	

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2018年12月1日から2019年2月28日まで)及び第2四半期連結累計期間(2018年9月1日から2019年2月28日まで)に係る四半期連結財務諸表につきまして、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,650,766	5,695,568
売掛金	131,253	1,220,215
商品	4,606,990	3,859,163
その他	336,610	264,848
貸倒引当金	109,948	109,079
流動資産合計	8,615,672	10,930,716
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,314,004	1,504,813
その他（純額）	389,174	398,273
有形固定資産合計	1,703,178	1,903,086
無形固定資産		
のれん	514,961	441,072
その他	127,430	174,440
無形固定資産合計	642,392	615,513
投資その他の資産		
差入保証金	983,330	1,050,433
その他	315,137	301,158
貸倒引当金	1,700	-
投資その他の資産合計	1,296,767	1,351,592
固定資産合計	3,642,337	3,870,192
資産合計	12,258,009	14,800,908

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,864	6,682
短期借入金	1, 2 3,050,000	1, 2 5,310,000
1年内償還予定の社債	160,000	160,000
1年内返済予定の長期借入金	504,088	284,088
未払法人税等	447,799	420,466
賞与引当金	186,378	202,056
資産除去債務	18,943	4,650
その他	481,837	762,259
流動負債合計	4,862,910	7,150,202
固定負債		
社債	160,000	80,000
長期借入金	826,198	691,654
役員退職慰労引当金	50,375	57,014
資産除去債務	432,691	509,108
その他	129,156	57,513
固定負債合計	1,598,421	1,395,290
負債合計	6,461,332	8,545,493
純資産の部		
株主資本		
資本金	948,582	949,457
資本剰余金	936,360	937,235
利益剰余金	3,912,029	4,370,068
株主資本合計	5,796,973	6,256,761
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	295	1,345
その他の包括利益累計額合計	295	1,345
純資産合計	5,796,677	6,255,415
負債純資産合計	12,258,009	14,800,908

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)
売上高	15,390,414	18,956,982
売上原価	10,988,551	14,139,405
売上総利益	4,401,862	4,817,576
販売費及び一般管理費	3,210,825	3,665,363
営業利益	1,191,037	1,152,212
営業外収益		
受取利息	149	45
為替差益	-	19,692
その他	11,659	7,649
営業外収益合計	11,809	27,388
営業外費用		
支払利息	13,819	14,225
支払手数料	8,241	5,231
為替差損	5,406	-
その他	882	10,351
営業外費用合計	28,350	29,807
経常利益	1,174,496	1,149,794
特別損失		
減損損失	14,820	7,498
特別損失合計	14,820	7,498
税金等調整前四半期純利益	1,159,676	1,142,295
法人税、住民税及び事業税	438,856	358,332
法人税等調整額	147,021	13,293
法人税等合計	291,835	371,625
四半期純利益	867,840	770,670
親会社株主に帰属する四半期純利益	867,840	770,670

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)
四半期純利益	867,840	770,670
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,139	1,050
その他の包括利益合計	3,139	1,050
四半期包括利益	864,700	769,619
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	864,700	769,619

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,159,676	1,142,295
減価償却費	139,763	147,244
のれん償却額	73,891	73,890
貸倒引当金の増減額(は減少)	14,797	2,569
賞与引当金の増減額(は減少)	14,976	15,678
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4,879	6,639
受取利息及び受取配当金	149	45
支払利息	13,819	14,225
減損損失	14,820	7,498
売上債権の増減額(は増加)	640,692	1,088,962
たな卸資産の増減額(は増加)	532,261	748,168
仕入債務の増減額(は減少)	979	7,181
その他	183,485	342,778
小計	447,985	1,399,659
利息及び配当金の受取額	149	45
利息の支払額	14,237	15,069
法人税等の支払額	346,367	390,572
営業活動によるキャッシュ・フロー	87,530	994,063
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	140,565	224,453
無形固定資産の取得による支出	3,985	65,104
資産除去債務の履行による支出	3,942	4,400
差入保証金の差入による支出	35,181	85,783
差入保証金の回収による収入	5,766	1,719
その他	17,838	17,699
投資活動によるキャッシュ・フロー	195,747	395,721
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(は減少)	1,136,566	2,260,000
長期借入金の返済による支出	227,856	354,544
社債の償還による支出	80,000	80,000
株式の発行による収入	-	1,749
配当金の支払額	98,468	312,500
その他	87,897	85,290
財務活動によるキャッシュ・フロー	642,344	1,429,414
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,480	966
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	530,647	2,026,790
現金及び現金同等物の期首残高	2,657,806	3,297,704
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,188,453	5,324,495

【注記事項】

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 当座貸越契約

運転資金の効率的な調達を行うため、取引銀行9行(前連結会計年度は7行)と当座貸越契約を締結しております。当該契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
当座貸越極度額の総額	5,616,000千円	6,592,000千円
借入実行残高	2,800,000千円	5,230,000千円
差引額	2,816,000千円	1,362,000千円

2 コミットメントライン

運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行とシンジケーション方式にてコミットメントライン契約を締結しております。

当該契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
コミットメントラインの総額	4,000,000千円	4,000,000千円
借入実行残高	250,000千円	80,000千円
差引額	3,750,000千円	3,920,000千円

なお、上記コミットメントライン契約には、以下の財務制限条項が付されております。

2018年8月期末日及びそれ以降の各会計年度末日において、連結の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額を、2017年8月期末日における連結の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の75%以上に維持すること。

2018年8月期末日及びそれ以降の各会計年度末日における連結の損益計算書に記載される経常損益が2期連続して損失とならないようにすること。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)
給与及び賞与	701,226千円	842,152千円
賞与引当金繰入額	162,273千円	202,056千円
貸倒引当金繰入額	23,157千円	2,569千円
役員退職慰労引当金繰入額	4,879千円	6,639千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)
現金及び預金勘定	3,543,517千円	5,695,568千円
預入期間が3か月を超える定期預金	355,063千円	371,072千円
現金及び現金同等物	3,188,453千円	5,324,495千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自2017年9月1日 至2018年2月28日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2017年11月24日 定時株主総会	普通株式	98,468	88.00	2017年8月31日	2017年11月27日	利益剰余金

(注) 2017年11月25日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っておりますが、1株当たり配当額は株式分割前の内容を記載しております。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結累計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自2018年9月1日 至2019年2月28日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年10月15日 定時株主総会	普通株式	312,631	51.50	2018年8月31日	2018年11月8日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結累計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、「ブランド品、骨董・美術品等リユース事業」のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)
(1) 1株当たり四半期純利益	155円12銭	126円94銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	867,840	770,670
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	867,840	770,670
普通株式の期中平均株式数(株)	5,594,785	6,071,371
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	-	115円66銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	-	591,669
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

- (注) 1. 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高がありますが、当社株式は2018年2月28日において非上場であったため期中平均株価が把握できませんので、記載していません。
2. 2017年11月25日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得及び自己株式の公開買付け)

当社は、2019年1月11日開催の取締役会において、会社法第459条第1項及び当社定款の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式の取得及びその具体的な取得方法として、自己株式の公開買付けを行うことを決議し、2019年3月6日に自己株式の取得を実施いたしました。

1. 買付け等の目的

当社は、長期継続的な企業価値向上が株主の利益への貢献であるとの認識のもと、事業計画に基づく再投資に意を用いつつ、株主に対して安定的な配当を実施していくことを基本方針としております。また、自己株式の取得については、機動的な資本政策の必要性や財務状況に与える影響等を勘案しながら、取締役会の決議により実施いたします。そのため、当社は、剰余金の配当等の会社法(平成17年法律第86号。その後の改正を含みます。)第459条第1項各号に定める事項については、法令に別段の定めのある場合を除き、株主総会の決議によらず取締役会の決議により定めることができる旨を定款に定めております。

かかる状況の下、2018年10月中旬に、当社の主要株主である筆頭株主かつ支配株主（親会社を除く。）のS Fプロパティマネジメント合同会社（以下「S Fプロパティマネジメント」といいます。）より、その保有する当社普通株式のうち約10億円に相当する株式を売却する意向がある旨の連絡を受けました。S Fプロパティマネジメントは、当社の代表取締役社長である寄本晋輔が代表社員を務める資産管理会社であります。

当社は、S Fプロパティマネジメントからの連絡を受けて、一時的にまとまった数量の株式が市場に放出されることによる当社普通株式の流動性及び市場価格に与える影響、並びに当社の財務状況等を総合的に考慮して、2018年10月下旬より、当該株式を自己株式として取得することについて具体的な検討を開始いたしました。

その結果、2018年11月中旬に、当該当社普通株式を自己株式として取得することは、当社の1株当たり当期純利益（EPS）の向上や、株主資本利益率（ROE）等の資本効率の向上に寄与し、株主の皆様に対する利益還元につながるものであり、また、自己株式の具体的な取得方法につきましては、株主間の平等性及び取引の透明性の観点から十分に検討を重ねた結果、公開買付けの手法が適切であると判断いたしました。

2. 自己株式の取得に関する取締役会決議の内容

（1）取得する株式の種類	普通株式
（2）取得する株式の総数	215,100株（上限）
（3）取得価額の総額	1,204,560,000円（上限）
（4）取得する期間	2019年1月15日から2019年3月29日まで

3. 自己株式の公開買付けの概要

（1）買付予定数	215,000株
（2）買付け等の価格	普通株式1株につき、金5,600円
（3）買付け等の期間	2019年1月15日から2019年2月12日まで
（4）公開買付開始公告日	2019年1月15日
（5）決済の開始日	2019年3月6日

4. 自己株式の公開買付けの結果

（1）応募株式の数	179,000株
（2）買付株式の数	179,000株

5. 自己株式の取得結果

（1）取得した株式の種類	普通株式
（2）取得した株式の総数	179,000株
（3）取得価額の総額	1,002,400,000円
（4）取得日	2019年3月6日

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年4月12日

株 式 会 社 S O U
取 締 役 会 御 中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 篠原孝広
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 伊藤裕之

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社S O Uの2018年9月1日から2019年8月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2018年12月1日から2019年2月28日まで）及び第2四半期連結累計期間（2018年9月1日から2019年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社S O U及び連結子会社の2019年2月28日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は2019年1月11日開催の取締役会において、自己株式の取得及びその具体的な取得方法として自己株式の公開買付けを行うことを決議し、2019年3月6日に自己株式を取得している。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。